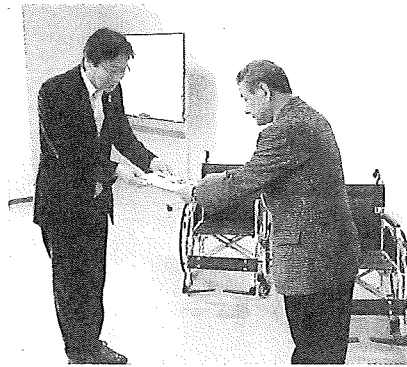


各企業の社会貢献

宮坂建設工業が継続4年目

ことしも車いす寄贈

札幌北区の福祉施設へプレゼント



宮坂建設工業(株)(帯広、宮坂寿文社長)は十六日、札幌支店の所在地である札幌市北区の社会福祉協議会「愛情銀行」を通じて、北区グループホーム管

理者連絡会に車いす三台を寄贈した。北区役所で行われた贈呈式には、札幌支店の菊池章常務と福田信行顧問が出席。菊池常務が寄付の窓口となる北区社会福祉協議会の湯浅繁男常務理事に目録を手渡した。写真。

寄贈した車いすは、北区内の三十六事業所のグループホームで活用される。出席した北区グループホーム管理者連絡会の長谷川静代氏は「車いすは毎年、必要とされている方の手や足となっていて、有効に使わせてもらいます」と感謝していた。

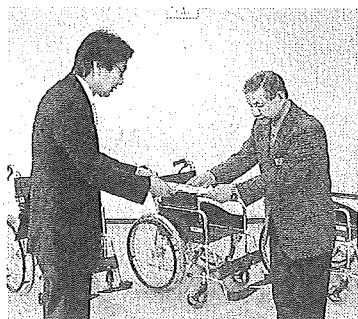
北区社会福祉協議会から感謝状を受け取った菊池常務は「ことしは当社創業九十年、札幌支店開設七十年の節目に当たる。皆さんが喜んでくれる限り今後も継続的に続けていきたい」と活動の継続を約束した。

同社は、社会貢献活動の一環として、平成二十年から車いすの贈呈を実施。毎年、札幌支店のほか、帯広本社と釧路支店で各三台を寄贈。四年目となることで累計三十六台を贈ったこととなる。

北区社会福祉協に車いす3台寄贈

宮坂建設工業

宮坂建設工業(本社・帯広、宮坂寿文社長)の札幌支店は16日、北区社会福祉協議会愛情銀行に車いす3台を寄贈した。2008年から毎年続けている地域貢献事業で、4回目となる。



北区役所内で開かれた

今回の車いすが実際に使われる北区グループホーム管理者連絡会の代表として出席した、グループホーム「菜の花」の介護福祉士長谷川静代氏は「必要な人にとって手とり、足となるもの」と感謝していた。

贈呈式には菊池章常務、福田信行顧問らが出席。アタプトプログラムや手稲山口緑地を対象とする森づくりに関する協定など現在展開している地域貢献活動を紹介した菊池常務は「車いすの寄贈も継続させたい」と話し、同社会福祉協議会の湯浅繁男常務理事に目録を手渡した。写真。